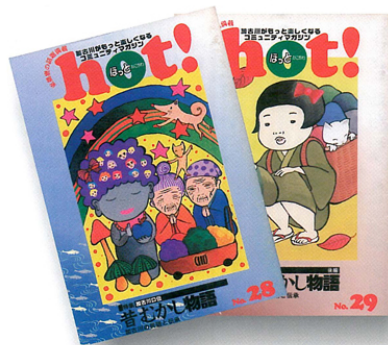




民話の謎を 解くのは誰だ？

加古川には、この地図にのっている以外にも、まだまだ面白い民話や昔ばなしがあるぞ。

みんなも、もっともっと調べてみよう。

ほっとかこがわのホームページでも
加古川の民話や昔ばなしを紹介してるぞ。 <http://www.hotkakogawa.com/minwa/>



図書館で調べてみよう。

図書館にいれば、「東はりまの民話」(神戸新聞出版センター発行)や「郷土のおはなし」とうた」(加古川市教育委員会発行)、「郷土の民話」(兵庫県学校厚生会発行)、「ふるさと民話」(社団法人加古川青年会議所発行)などの本を見ることができ。これらの本をもとに、その民話が語られている場所にじっさいに足を運んでみよう。

実際にその場所へ 行ってみよう！

民話の舞台となった場所で、近所のおばあさんやおじいさんに話を聞いてみると、また別のお話があったりして、さらに謎が深まるぞ。また歴史などと照らしあわせてみたら面白いぞ。

もっと広い範囲でも 調べてみよう。

インターネットなどでさらに広範囲に調べてみよう。全国にある民話や昔ばなしと共通点とかが見つかるかもしれないぞ。陰陽師伝説(おんみょうじでんせつ)は、小説や漫画、映画なんかにもなっているけど、加古川にその話が伝わっているなんてロマンを感じるよね。



←八幡神社(西条山手)



↑常楽寺(上荘町)



↓春日神社(加古川町)



↑大歳神社(東神吉町)



↑大歳神社(東神吉町)



↑春日神社(加古川町)



加古川の 民話地図





民話の舞台をたずねてみよう！

皆さんは民話と聞くと何を思うかえますか？

むかしむかしで始まる、ほのぼのとしたおはなし？あるいは、全国的に有名は桃太郎や、さるかに合戦のようなおはなしかもしれません。

この加古川民話地図は、加古川に伝わる民話を地図にしたものです。

民話という、現実にはありえないようなおはなしが多いですが、実際にその民話の舞台となっている場所に足を運んでみると、そこにはその民話の断片のような石碑や、お地蔵さん、お堂などが残っていたりします。

また、同じ登場人物が、いろんなところで別におはなしになっていることもあります。加古川の民話でいうなら、法道仙人や、陰陽師の阿部清明や芦屋道満などです。

法道仙人のお話は、どれも空を飛んだといわれる仙人のエピソードとなっています。加古川の米田という地名も、法道仙人の術で空を飛んでいた米俵が、墮ちた場所、米が墮ちた「米墮」が語源だという説もあったりします。

おんみょうじ あべのせいめい あしやどうまん
陰陽師の阿部清明や芦屋道満のおはなしは、小説や映画などにもなっていたりし

て、そのふるさとが加古川のこの地であるなんて、少し自慢したくなります。

このように民話は、たんなる作り話ではなくて、その場所、その時代に何かあったことが、人から人へと現代にまで伝わっていったものがたりなのです。

この地図は、そういったものがたりの舞台を、マップとして製作しました。地図の上では書ききれないため、物語の詳しい話は載せていません。

どのお話も、とても面白いので、ぜひ調べてみたり実際にその舞台である場所についてみてください。

また、この地図に載っていない民話の舞台となっている場所はまだまだたくさんあります。

たとえば、いつも学校へいく道にある小さな祠にも、もしかしたらこういったお話が伝わっているかもしれません。

近所のおじいちゃんやおばあちゃんなら、そういったお話を知っているかもしれませんよ。

みどころ

こんなところも見てみよう。

民話の舞台をたずねる時に、周りをよく見回してみよう。民話にはふれられていないけれど、なにやら想像力をかきたてられるものがたくさん発見できるぞ。気になったものは、さらに自分で調べてみよう。



神社の境内は、アートな空間だ！昔の合戦の様子を描いた絵などが、かかられているぞ。上の絵なんかは、かなりリアルな合戦の様子が描かれている。(写真：東神吉の常楽寺)



神社のこまいぬも、その神社によってさまざま。上のこまいぬは、背中の上に子どものこまいぬが乗っている。(写真：神野町の稲根神社)

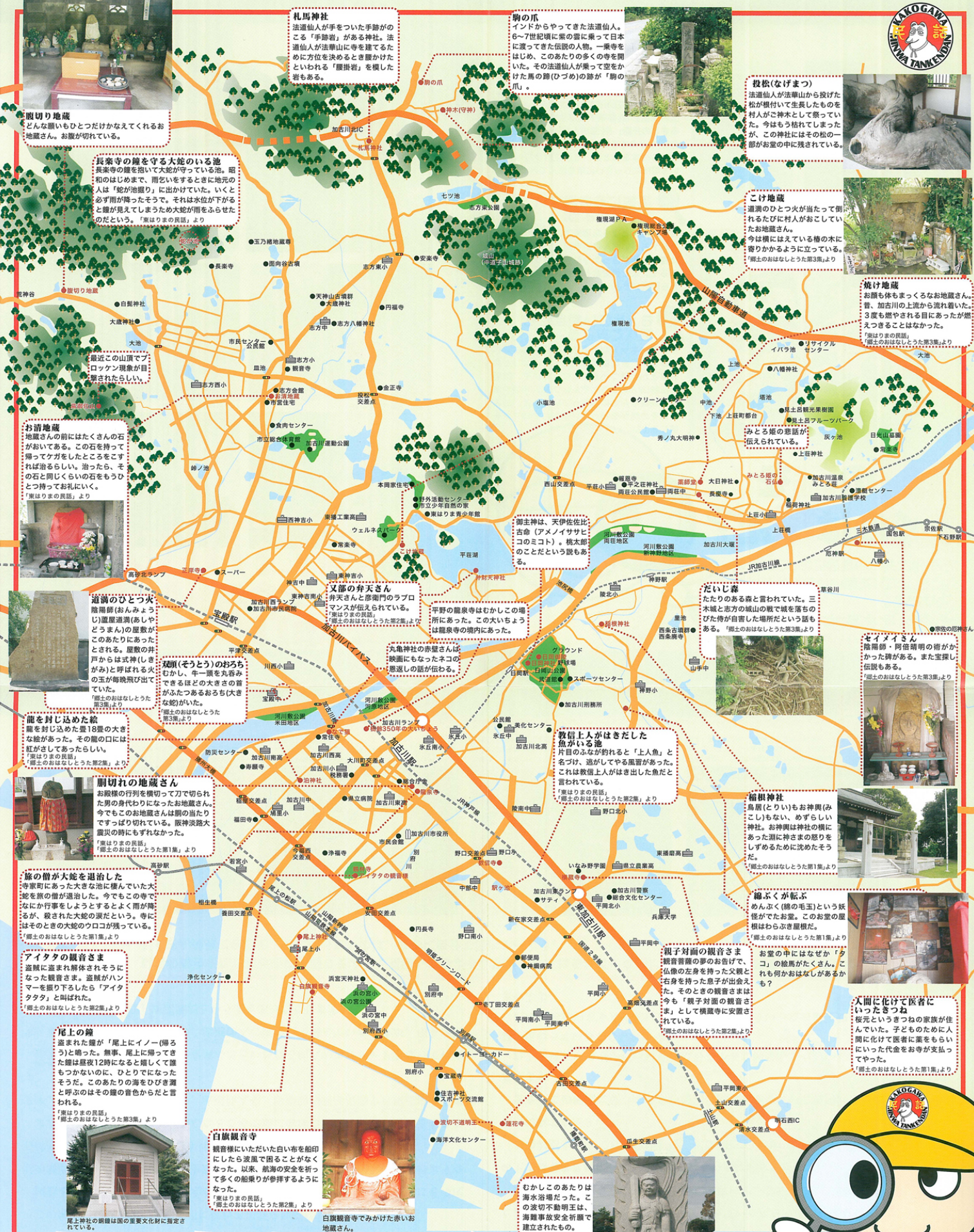


お寺は、小さなつくりにても特徴があるぞ。この写真は龍泉寺の門の上に彫られた龍。見落としがちなところに意外なものがあるぞ。(写真：加古川町の龍泉寺)



「めんぶく」が出るお堂のはわらぶき屋根だった。上や下や、いろんな角度から見てみると、面白い発見がある。(写真：神野町のお堂)

加古川の
民話地図



加古川の民話地図

